

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		合志市地域公共交通協議会運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	4	公共交通の充実			所属課	企画財政課	担当者名	坂井 竹志
	基本事業	12	公共交通の連携による利便性の向上			所属班	政策企画班	(内線)	1245
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市地域公共交通協議会設置要綱	
		1	2	1	11	11463		成果優先度評価結果	12
								コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成20年度に設置した合志市地域公共交通協議会(以下、協議会)を管理・運営する事業である。地域の公共交通機関はマイカーへの依存で利用者の減少から衰退しつつあるが、原油高騰や環境問題などにより、公共交通機関の利用に関して市民意識が高まりつつある。今後の取り組みにおいて、地域の公共交通機関を支援し、利用者の利用利便性の向上を図ることが期待されている。
【業務の流れ】	協議会事務局としての機能を有し、協議会の開催や関係機関との調整を行う。
【主な予算費目】	報酬、費用弁償
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市議会において、合志市の交通に関する全体構想をまとめる必要があるという意見があった。また、パブリックコメントにおいても、公共交通機関の整備に期待を寄せる意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 半段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
協議会の開催		協議会の開催(6回予定)
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標		(単位)
⇒ ア 協議会の開催回数	回	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市地域公共交通協議会	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
		ア 組織数
		⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	協議会の円滑な運営	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
		⇒ ア 円滑に開催できなかった会議の割合
		⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		
協議会の円滑な運営を目的としているため、円滑な協議会開催ができなかった割合とした。		

(2) 各指標・総事業費の推移				単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回					6	3	6	6	6
	イ										
⑤ 対象指標	ア	件					1	1	1	1	1
	イ										
⑥ 成果指標	ア	%					0	0	0	0	0
	イ										
投資 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円			531	194	531	531	531
			(A) 事業費計	千円	0	0	531	194	531	531	531
			(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人			4	4	6	6	6	
		延べ業務時間	時間			300	200	300	300	300	
		(B)人件費計	千円	0	0	1,194	796	1,194	1,194	1,194	
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	1,725	990	1,725	1,725	1,725	

総トータルコスト	
全体計画	
～	年度

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0
0
0

合志市

事務事業名	合志市地域公共交通協議会運営事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

協議会の開催は予定回数よりも少ないものの、公共交通事業の進捗に合わせて適宜開催し、予定事業をすべて完了した。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止
☐ 休止
☐ 目的再設定
☐ 事業統廃合・連携
☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)
☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策